

輸出事業計画

※申請者名：株式会社丸三丸口製茶、品目：茶

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・弊社は、慣行栽培を軸に国内流通向けの茶づくりを行っているが、輸出向けに移行するため有機JAS認証の取得を進めている。
- ・化学肥料に頼らない茶の栽培技術確立し、ASIAGAPの取得により販売先や消費者に安心安全な茶を提供している。
- ・今後は、国内商社と海外販売先を含めてグループ化を図り、より強固な会社同士、人と人の繋がりを築いていく。

【課題】

- ・取引先から、輸出に対応した煎茶及び有機抹茶の原料である有機てん茶増産の要請があるが、要請に対応し得るだけの生産量の確保、生産体制の構築ができていない。
- ・茶の海外輸出を行うためには、輸出先国の残留農薬基準を満たし、かつ、G A P等を取得し生産・加工工程を明確にする必要がある。
- ・輸出による販路拡大を図りたいが、輸出実績がないため、手法を学ぶ必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

①碾茶製造設備の導入による碾茶生産の開始

既存の生産ラインに碾茶製造ラインを導入することで、海外の抹茶需要に対応できる生産体制を構築し、輸出の拡大に取り組む。

②有機栽培茶の生産

有機 J A S 認証を全圃場において取得し、有機栽培茶の生産拡大に取り組む。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

技術指導・
試験等への協力

株式会社丸三丸口製茶
(輸出碾茶製造)

情報共有

曾於畑地かんがい農業推進センター
あおぞら農業協同組合
志布志有機茶研究会
志布志市有明茶IPM研究会

A社
(取引先)

4. 輸出目標額

※輸出先国と輸出する農林水産物・食品の現状及び目標金額を記載すること

輸出品目：てん茶	現状(令和3年)	目標年(令和10年)
輸出額(円)	0円	1.92億円
輸出先国	—	米国